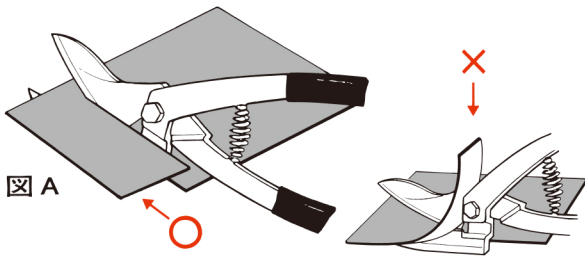
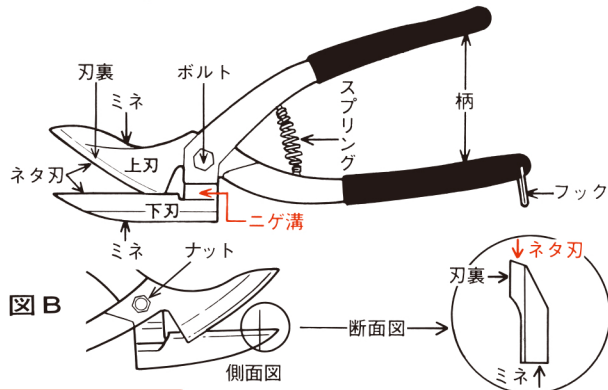


テスキー鋏の正しい使い方

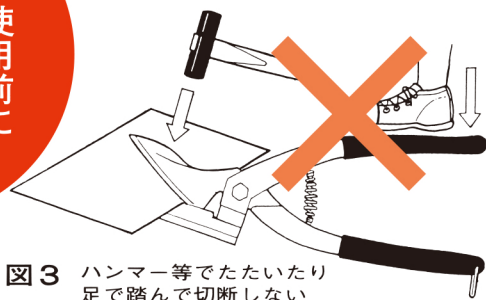
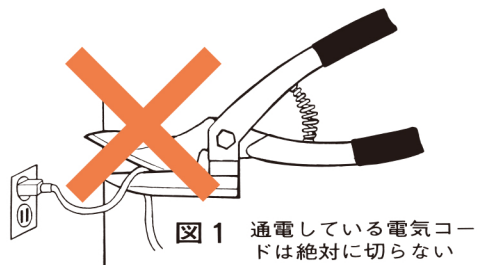


直線切りの場合は今までの鋏のように矢印×の箇所を持ち上げず上図Aのようにニゲ溝を通して、お切り下さい。
(変形切りは右下図「エグリ方法」をご参照下さい)

各部の名称



ご使用上の注意



- ▲ 鋏の用途以外にはご使用にならない下さい。
- ▲ 鋏のフックをはずす時は、上下の柄をにぎってはずし、使い終りは必ずフックをかけ、刃を閉じて下さい。
- ▲ 切断許容板厚(台紙裏面参照)以上の物や薄い板を複数枚重ねた物は切らないで下さい。(釘や線材等は切らないで下さい)
- ▲ 刃は素手でさわったり、握ったりしないで下さい。
- ▲ 金属板のはし切り落としは、切れ端が飛びちりやすいので、ゆっくりと切り落として下さい。(間近に人がいない事を確認して下さい。)
- ▲ エグリをする時は、少しずつ切り進むと切断面にギザが出て指を刺す危険があります。できるだけ刃の奥から一気に切り回して下さい。
- ▲ 切断作業中は危険防止のため眼や顔を近づけないで下さい。
- ▲ 鋏のミネや柄をハンマー等でたたいたり、足で踏んで切断しようとししないで下さい。(図3参照)
- ▲ 切断中に刃を上下左右に振ったり、無理にこじったりしないで下さい。(図2参照)
- ▲ ハンマーのかわりに使ったり刃先で缶のフタ等をごじ開けたりしないで下さい。
- ▲ 切断作業中は指や身体が、刃や金属板の切断面にふれないようにして下さい。
- ▲ 通電している電気コードは絶対に切らないで下さい。(図1参照)
- ▲ 鋏を落としたりすると、刃がカケたり足等に刺さる危険もありますので、落とさないで下さい。
- ▲ ネジがゆるんだり、刃がカケたままのご使用は危険ですのでやめて下さい。修理に出すか、とぎ直しをしてご使用下さい。
- ▲ 子供の手のとどかない場所に保管して下さい。

お手入れ方法

☆使用中に刃がきしんできたなら、刃の裏側を油布か、布でからぶきをして下さい。

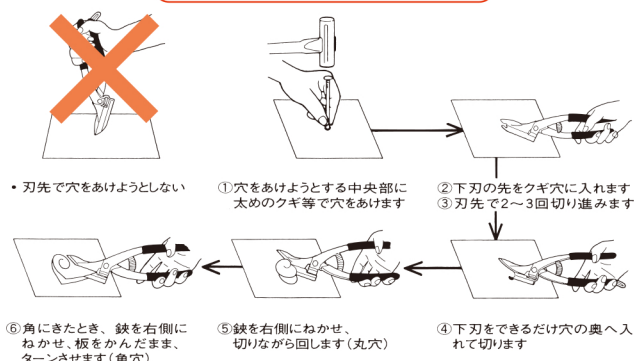
☆使用後は刃部を油布等でふいておいて下さい。

☆ 刃を研ぐ順序

- ① スプリングをはずす。(スプリングが飛び出さないように注意して下さい)
- ② ナットをはずす。(ナットを締めはずす時は、必ずボルトをレンチ等で固定して行って下さい)(図C参照)
- ③ 上刃柄をはずす。(上刃柄にネジが切っておりますので、ボルトを回しながら上刃柄をはずします)
- ④ ワッシャーを取り除き、ボルトを抜きます。
- ⑤ ネタ刃部(上図B参照)を砥石等で研ぎます。(刃裏は絶対に研がないで下さい)
- ⑥ 組立ては以上の逆順序⑤→①でします。(ボルトの締め具合は上刃と下刃がスムーズにすり合わさる程度にし、ナットはきつく締めて下さい)



エグリ方法



※本書はなくさないように大切に保管して下さい

ご連絡先 株式会社エヌシキ ☎03(5754)1811

必ずお読み下さい